

一般質問

12月議会では11名の議員が市政に対して、一般質問を行いました。
議会だよりでは、一般質問の要旨を各議員の文責において掲載しております。
土岐市ホームページでは、インターネットによる議会映像の配信や定例会・臨時会の会議録を掲載しています。ぜひアクセスして詳細をご覧ください。



一般質問へのアクセス方法

視聴の場合	土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒
どちらかの方法	議会ライブ中継 ⇒ 議会の日程から選ぶ
	⇒ 視聴したい日にち ⇒ 一般質問
	議会ライブ中継 ⇒ 議員の名前から選ぶ ⇒ 日時を選ぶ
文書の場合	土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒ 議会会議録検索 ⇒ 会議録検索システムへ

《第5回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案

◆市道における交通安全対策について
●沿道の雑草、竹木等の対策
◎毎年交通の支障になり、交通事故の危険が高まる道路わきの雑草や竹木の対策は。
◎市民の皆さんからの対応についての通報については、今年度11月までで、草刈り13件、伐木43件あり、市有地の場合は職員が業者委託で速やかに処理対応している。民地の場合には所有者の方に訪問や電話等で伐採等の処理を依頼しているが、緊急の安全確保対応が必要な時は市が行う場合もある。カーブ等の見通しの悪い箇所の年間を通じての対策については、道路法面等の防草シートや防草コンクリートなどの手法も有効であるがコスト面で高価である。全体を実施することは困難であるが、現在施行中の陶元浅野線で防草コンクリートを導入しており、今後の新設道路等の導入についても前向きに導入を検討していきたい。



● 水野 哲男 ●

●冬場の凍結対策
◎融雪剤の散布と凍結しにくいカーブミラーによる対策は。
◎融雪剤散布の市による外部委託については、予算的な問題や国道や県道が優先になり業者不足で市道まで手が回らないというのが実情であり困難である。凍結しにくいカーブミラーとは、鏡面の裏側に内蔵された蓄熱材により曇りや凍結を防ぐ効果のあるもので、材料単価で3割増となるため、すべての交換は考えていないが、地元要望があれば設置場所の必要性を確認し採用していきたい。今までの設置実績は、5か所8枚である。

●交差点の対策
◎重大事故や災害に強いといわれている環状交差点・ラウンドアバウト導入についての市の見解は。
◎ラウンドアバウトは交通量等が一定の条件下において、安全かつ円滑な道路交通を確保することができるものとして、平成26年9月1日の関係法令施行から全国で設置が始まった。県内では現在3か所設置されているが、特に近隣自治体で計画中或いは施行中の案件があり、供用開始後の効果や課題の情報を集め、導入については引き続き研究し検討していきたい。



木股 英明

◆環境センターについて

◎環境センターの焼却施設並びに最終処分場は、あと何年くらい稼働可能ですか。

◎建屋は17年、焼却施設は、長寿命化計画に基づき点検・整備・補修・更新を行っておりますので、今後20年間使用が可能である。

◎管理型最終処分場が残余率41・9%、安定型最終処分場が残余率56・1%となっており、管理型最終処分場が34年、安定型最終処分場が55年です。

◎多治見、瑞浪、土岐の東濃西部3市によるごみ処理広域化に向けた協議の進捗状況をお聞かせください。

◎東濃西部広域行政組合を事務局として、3市の市長に対し、統合による処理効率、エネルギー効率の向上コストの圧縮、より安定的で安全な処理、脱炭素社会実現への寄与などを理由としてごみ処理施設の広域化を目指し、今後も検討を続けることの説明がございました。

◎集積場は市内に幾つありますか。

◎可燃ごみ882か所、不燃ごみ863か所、粗大ごみ及び資源物が508か所設けられている。

◎集積場に対する市の助成などはあるのでしょうか。

◎砂利やコンクリートなど維持管理に必要な原材料の支給として2万円を上限として実施しております。なお、現時点では消耗品については対象としておりません。

◎今までに何件くらい助成の申請がありましたか。

◎平成28年度から今年11月末まで7年8か月分で、合計で63件の申請がございました。

◎ガラスよけネットは消耗品ではありますが、助成の対象にしたいだけないでしょうか。

◎ご提案いただいたガラスよけネット等についても、環境保全や生活環境の向上に資するためということで助成対象の拡大について今後検討していきたいと考えております。

◆市民バスについて

◎A1オンデマンド交通を取り入れるお考えはあるのか。

◎今後、公共交通に係る規制緩和など国の進めている動向を注視しながら、実証実験に向けて、本市にとって最適な手法やその利便性、費用対効果などを検討して考えていきたいと存じます。

《第5回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



水石 玲子

◆避難所について

◎指定避難所の洋式化率は。

◎トイレ総数776基の内、洋式トイレは596基、洋式化率は76・8%。

◎今後の取り組みを伺います。

◎内閣府の避難所におけるトイレの確保・管理ガイドラインによるとトイレの環境悪化が健康被害、衛生環境の悪化をもたらすとある。施設の改修、トイレの改修の際には、洋式化を前提として進めていく。

◎避難所の機能強化として、レジリエンストイレ（災害配慮トイレ）の導入のお考えはありますか。

◎少量の水でトイレ環境を保つことのできる優れたものと認識している。しかし、専用配管の設計や施工が必要である為、現在小・中学校でのマンホールトイレの整備を優先して進め、その後のトイレの新設や改修に合わせて検討していく。

◆切れ目のない子育て支援

◎発達障がいへの早期発見と対応策について、本市の取り組みは。

◎年長児を巡回訪問し、行動観察簡易的な面接による検査、構音検査、仲間外れ検査等実施。その後、教育相談会や園とのケース会議で子どもの実態と支援を協議し、小学校への適切な就学へつなげている。又、年末年始にかけては、3歳児、4歳児を対象に園を巡回訪問している。

◎政府は発育状況を確認する為5歳児健診を公費負担とする方向で調整中。本市の対応は。

◎（市長）発達障がいは、早期発見、早期対応が大事であると認識している。その重要性の中で、就学前の巡回訪問、相談体制の強化に取り組んでいる。建設中の新病院に、発達障がいセンター（仮称）を設置して対応する事を検討している。



肥田町みんなのフェスティバル



後藤 正樹

◆全世代健康寿命延伸事業「ときげんきプロジェクト」について
 問令和2年度に始動した健康寿命の延伸を目的とする「ときげんきプロジェクト」を、これからのように広げ、また深めていくつもりなのか、加藤市長の見解を伺いたい。
 答急激に推進していくことは難しく、地道ではあっても取り組みの成果を着実に積み上げていくことが大事であると思っている。また、押しつけではなく、市民の皆さん一人一人に健康に対する意識を持ち続けていただくことが大変重要であると思っており、引き続き、そのことを声高に訴えていきたい。

●子どもから高齢者まで、一人でも多くの市民の方が自らの健康に関心を持ち、健康寿命の延伸を意識した健康づくりに楽しく取り組むことができるよう、健康ポイント事業等も上手く活用しながらプロジェクトを強力に推し進めていただきたい。

◆高齢者の単身世帯を対象とする見守り活動の強化について

問高齢者の単身世帯が今後増加していくことが明白である中、本市では、一人暮らしの高齢者を対象として、実際にどのような見守り活動が行われているのか。

答自宅を訪問する見守り活動として、福祉台帳に登録されている方を対象とする民生委員による定期的な訪問、配食サービス事業における配達時の安否確認と声掛けが行われており、シルバー人材センター、社会福祉協議会、地域包括支援センターによる訪問も実施されている。また、通信機器を利用した見守り活動として、緊急時の速やかな対応と安否確認を目的とする緊急通報システム事業を実施している。さらに、地域全体による見守り活動として、19の事業者と見守り活動に関する連携協定を締結し、各事業者が通常の業務において見守りを行い、異変を察知した場合に市に連絡、緊急時には消防・警察に通報する体制も整えている。

●見守り活動という、言わば「安全装置」によって支援が必要であると察知したときに適切な支援を迅速に行える仕組みや体制をしっかり整え、市民の皆さんにとって、土岐市役所が心から信頼できる「安心装置」であるための取り組みにも力を尽くし、誰もがいつまでも安心して暮らせるまちづくりを進めていただきたい。

《第5回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



塚本 俊一

◆PTA活動について
 問本市における各学校のPTA活動の現状はどうか。
 答各学校のPTA活動状況の詳細は把握していないというのが現状です。
 問先生も含めてのPTA活動ですので教育委員会等々の意見なり指導が反映されてもいいのではないか。
 答教育委員会としては、積極的に干渉したりすることについて法的にも難しいことでもあります。
 問任意団体で法的制約もなく、自ら作成する規約、または会則により運営されているPTA役員選出の課題をどのように受け止めているか。
 答立候補などの様々な方法で役員選出を変更している学校もあると聞いています。
 問PTA活動の一部を業者に外注することをどう考えるか。
 答保護者と学校の教職員とで成立しているPTA活動は、本来お互いの信頼関係の中で成り立つという関係づくりであります。活動を通じて、信頼関係をまたさらに構築していく

ことが大事であると思っている。

問「結のまち」サポート募集の現状とPTA活動を担っていただけるか。
 答117名のサポーターが登録されており、草取りや、読み聞かせなどの活動をされている。サポーターさんの賛同でPTA活動の協力も可能。

◆民生委員・児童委員の担い手について
 問民生委員・児童委員の現状は。
 答土岐市では、152人の方に委嘱して、活動をされている。
 問民生委員・児童委員の担い手不足の対策について。
 答必要以上をお願いすることを増やさないようにしていく。パンフレット・チラシを配布していく。

◆ゴミ問題について
 問管理型・安定型埋立て処分場の現状は。
 答平常時においては、あと管理型34年・安定型55年埋立て可能である。
 問家庭用の生ゴミ処理機・コンポストの利用数は。
 答平成6年度から累計数は生ゴミ処理機1903件・コンポスト1075件、合計2978件で、今後も補助制度を実施する。
 問学校給食の残飯などの処理は。
 答毎日430kg環境センターで焼却処分している。今後、循環型社会を目指して施策を検討していく。